酒匂市民集会施設調査報告書

令和2年11月

目次

酒匂地区の変遷 ・・・・・・・・・・・・1

酒匂市民集会施設 経緯 ・・・・・・・・・・・・1

施設について ・・・・・・・・・・・・2

平面図 ・・・・・・・・・・・・2

立面図 ・・・・・・・・・・・・4

矩計図 ・・・・・・・・・・・・6

酒匂地区の変遷

酒匂村は、明治22年4月に設立され、昭和5年に現酒匂市民集会施設である酒匂村役場が完成しました。

昭和15年12月に酒匂村の一部（現在の山王網一色地区）は、小田原町・足柄町・大窪村・早川村と合併し、小田原市になりました。

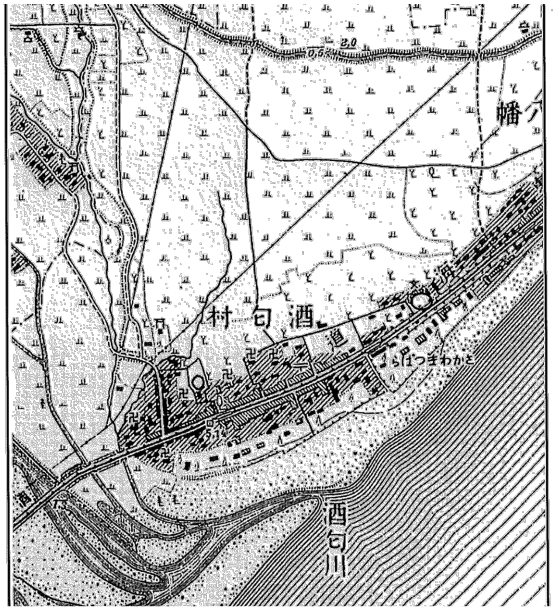
昭和17年4月には、町制施行され酒匂町になり、これに伴い、酒匂村役場が酒匂町役場になりました。

戦後のインフレでの財政難を背景に町村合併が進む中、国府津町・酒匂町・豊川村・上府中村・下曽我村・前羽村・下中村の2町5村は、昭和27年5月に川東地区自治研究会を結成し、市町村合併に向けて、同一歩調をとっていきました。

昭和28年9月、3か年の期限をつけた「町村合併促進法」が公布されたことから、酒匂町は小田原市との編入合併についての住民投票を実施し、6割強の住民の賛成を得ました。この住民投票の結果を受け、昭和29年9月の町議会において、小田原市との編入合併が賛成多数により可決され、同年12月1日に酒匂町は国府津町、上府中町、下曽我村、片浦町とともに小田原市へ編入合併することとなりました。

酒匂市民集会施設　経緯

明治22年4月1日	酒匂村が設立
昭和5年	酒匂村役場完成
昭和17年4月	町制を施行し、酒匂町となる。 →酒匂村役場から酒匂町役場になる。
昭和28年9月	小田原市との編入合併についての住民投票を実施し、6割強の住民の賛成を得た。
昭和29年9月	酒匂町議会において、小田原市への編入合併を賛成多数により可決
昭和29年12月1日	小田原市に編入合併 →『小田原市役所支所設置条例の一部を改正する条例』により、酒匂町役場から酒匂支所になる。
昭和59年	中央公民館酒匂分館（現：酒匂市民集会施設第1）開館
平成8年	川東タウンセンターマロニエがオープンし、酒匂支所を閉鎖。 →中央公民館酒匂分館を酒匂市民集会施設第1とし、同年3月に窓口コーナーを開設。 →酒匂支所を酒匂市民集会施設第2とし、地域に開放。
平成30年10月	酒匂市民集会施設第2の地域開放を終了。
令和2年11月下旬	酒匂市民集会施設第1及び第2の解体開始。



旧酒匂村位置図

・当時のおもむきをのこす正面玄関

施設について

酒匂市民集会施設は、昭和5年に酒匂村役場として建築されました。

木造2階建てではありますが、役場の金庫として鉄筋コンクリートの造の倉庫が付帯しているのが特徴的な建物です。

令和2年時点で築90年経過しており、経年劣化は認められるものの、内装含め当時の趣が感じられます。

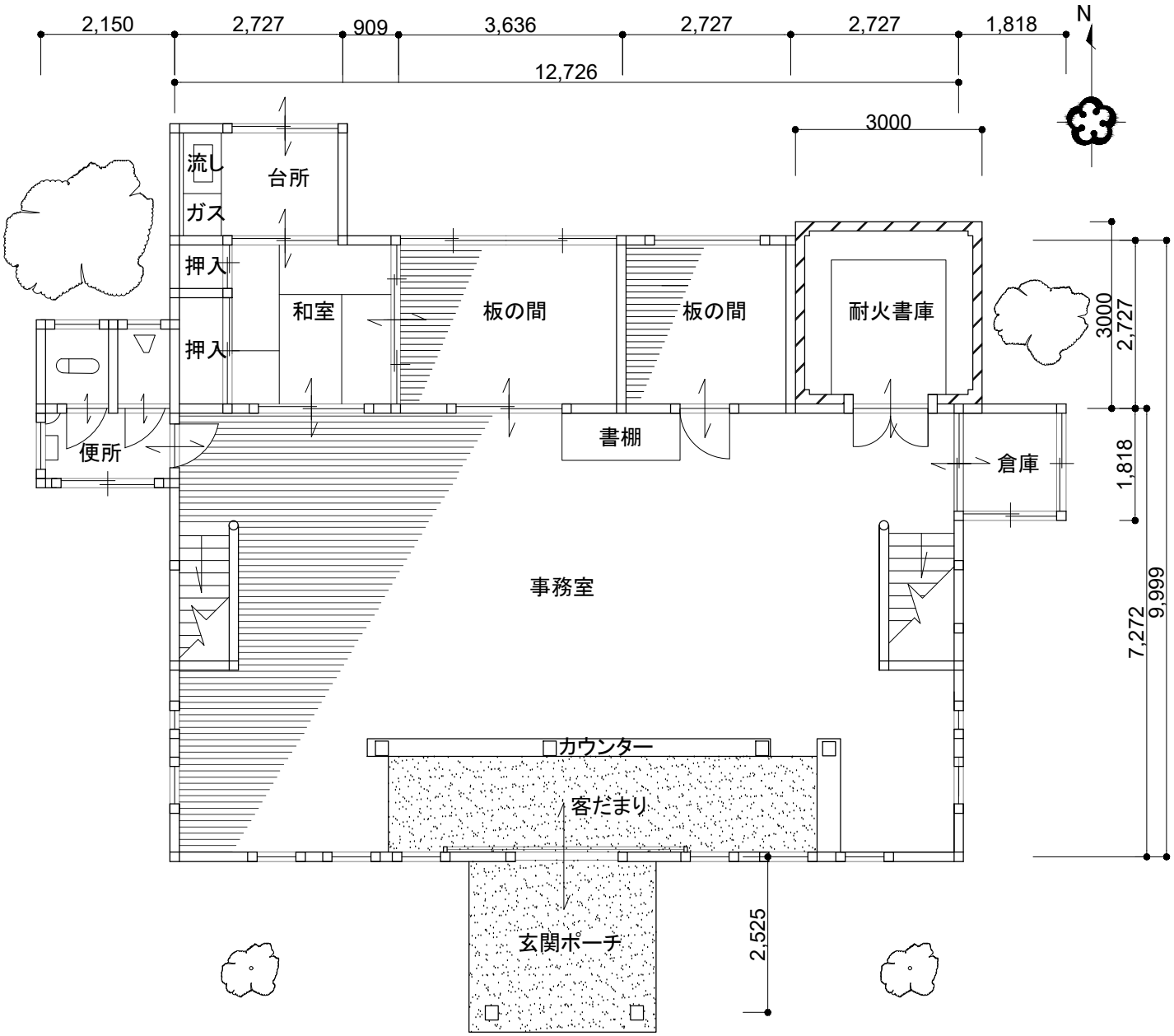
平成19年9月に木造部分のみ実施した簡易耐震診断において、耐震補強の必要性有と診断され、目視でも基礎部分の劣化が見受けられます。

概要

構　造:木造瓦葺　地上2階
床 面 積:約142㎡
　　約70㎡
建築時期:昭和5年築

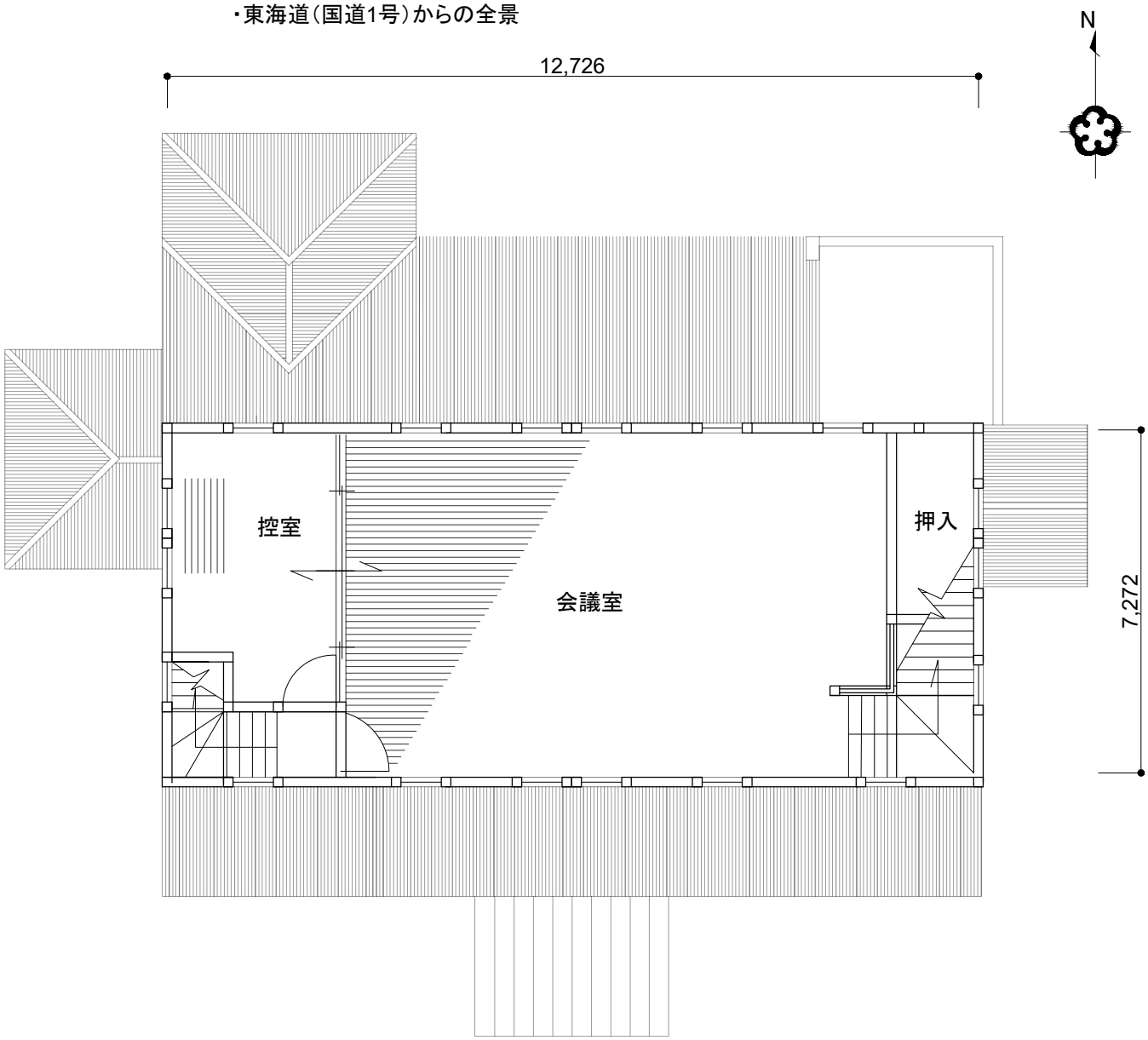
付帯設備(倉庫)

構　造:鉄筋コンクリート造
床 面 積:約7㎡
建築時期:昭和5年築

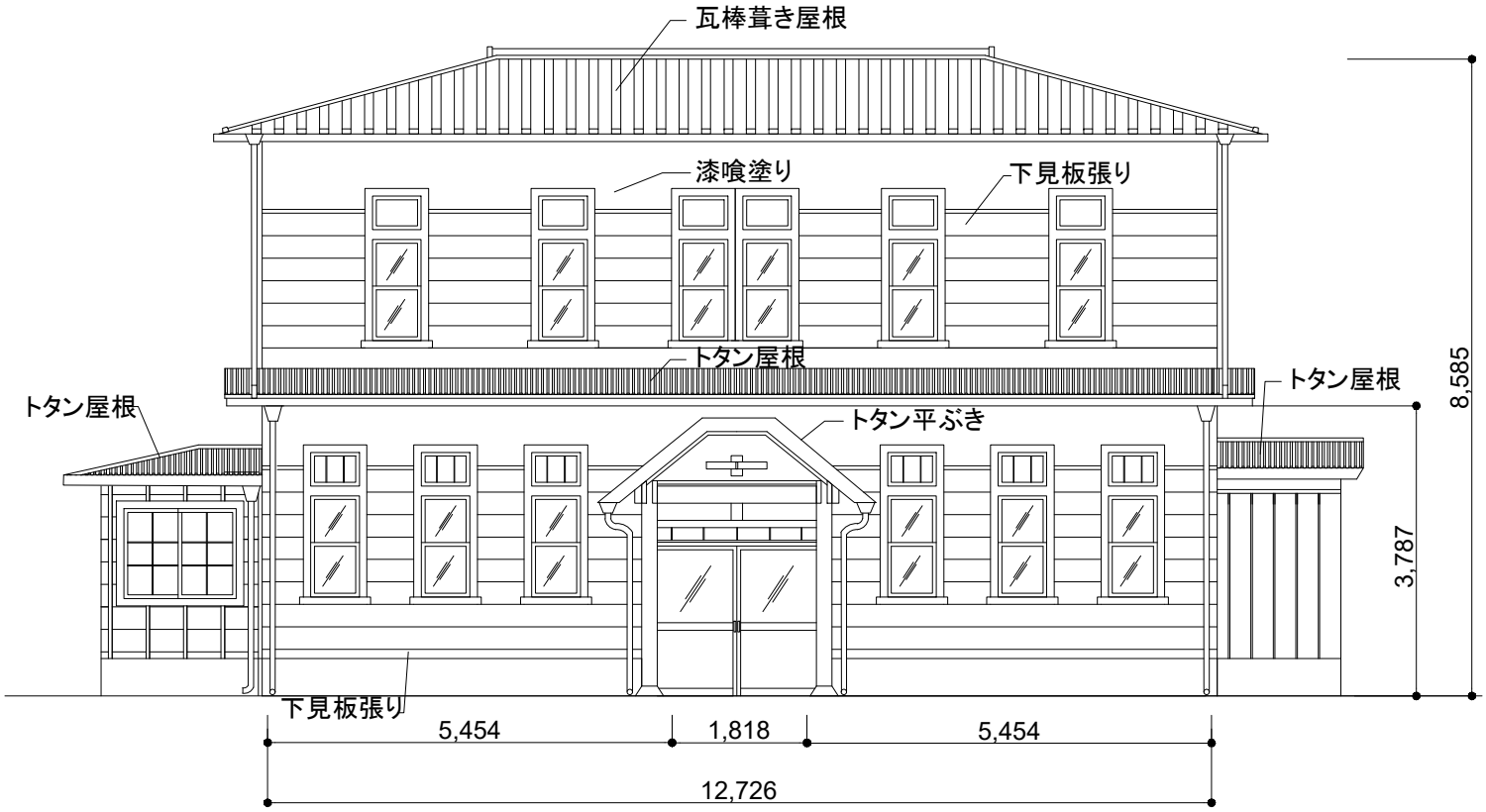


1 階平面図 S=1/100

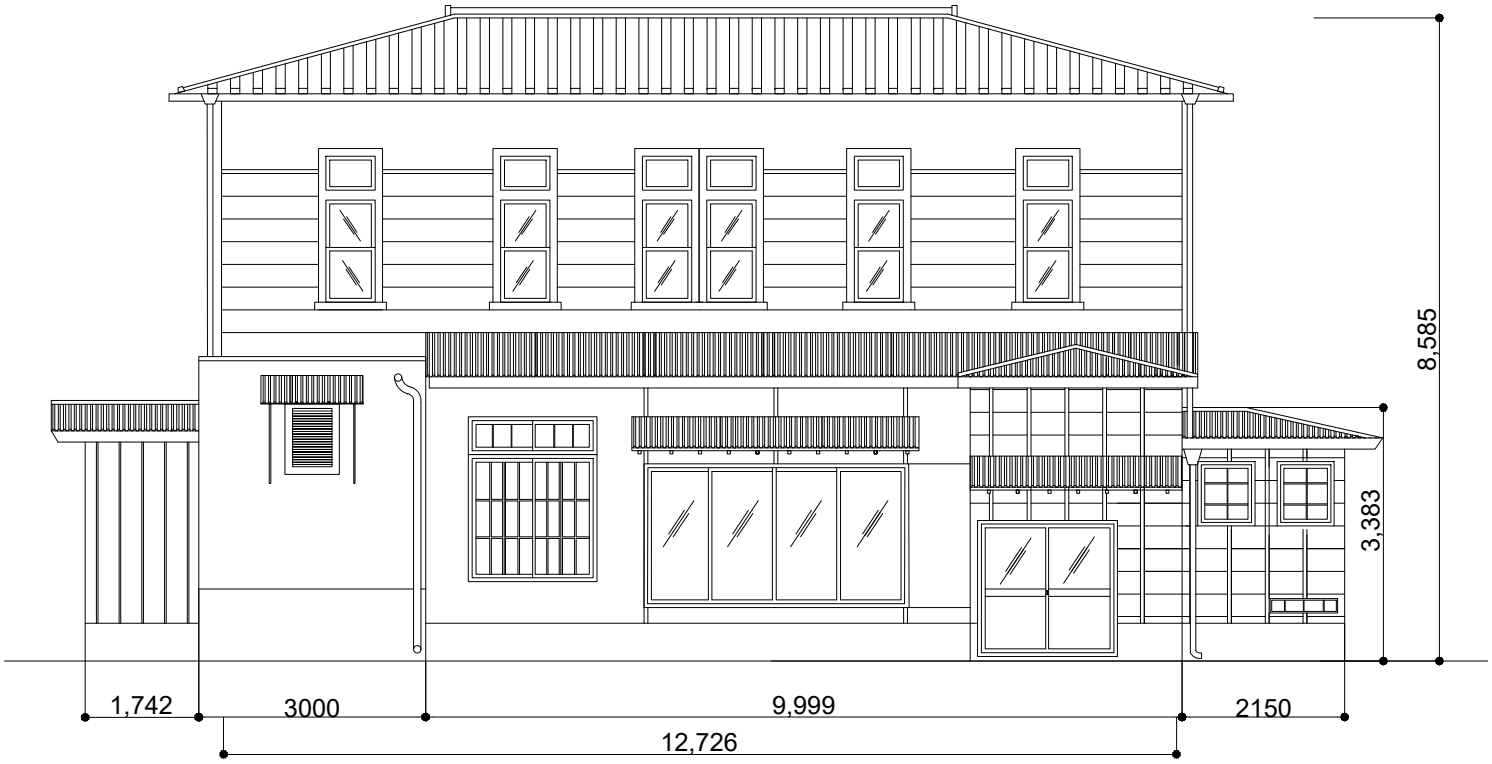
・東海道（国道1号）からの全景



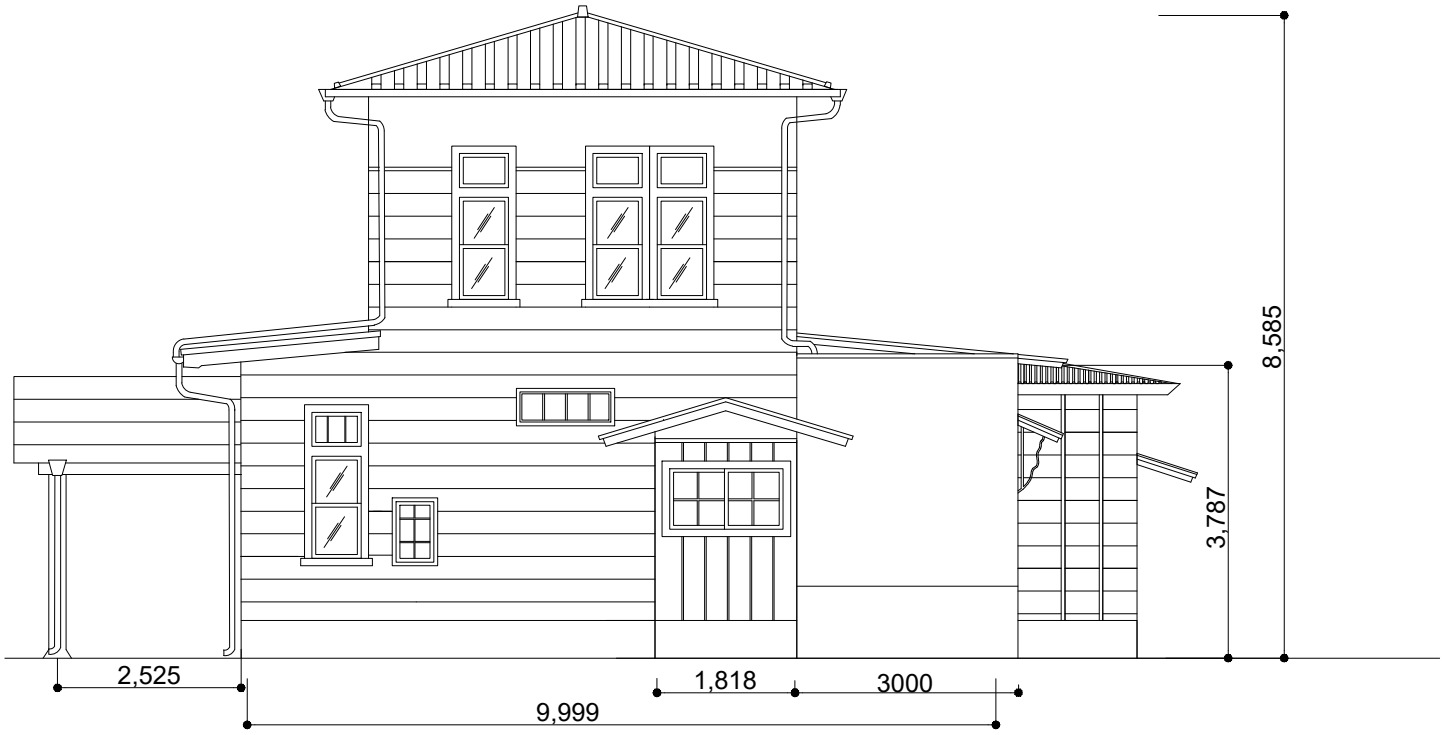
2 階平面図 S=1/100



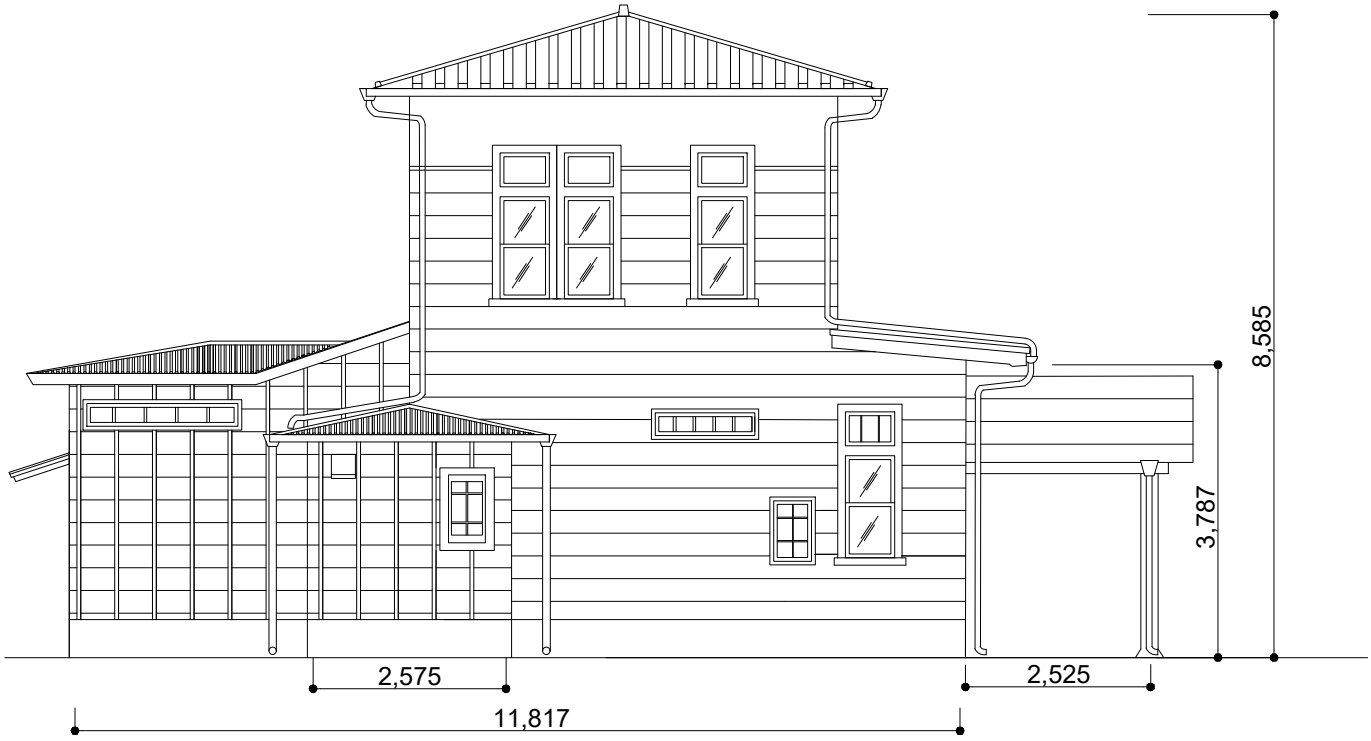
南面立面図 S=1/100



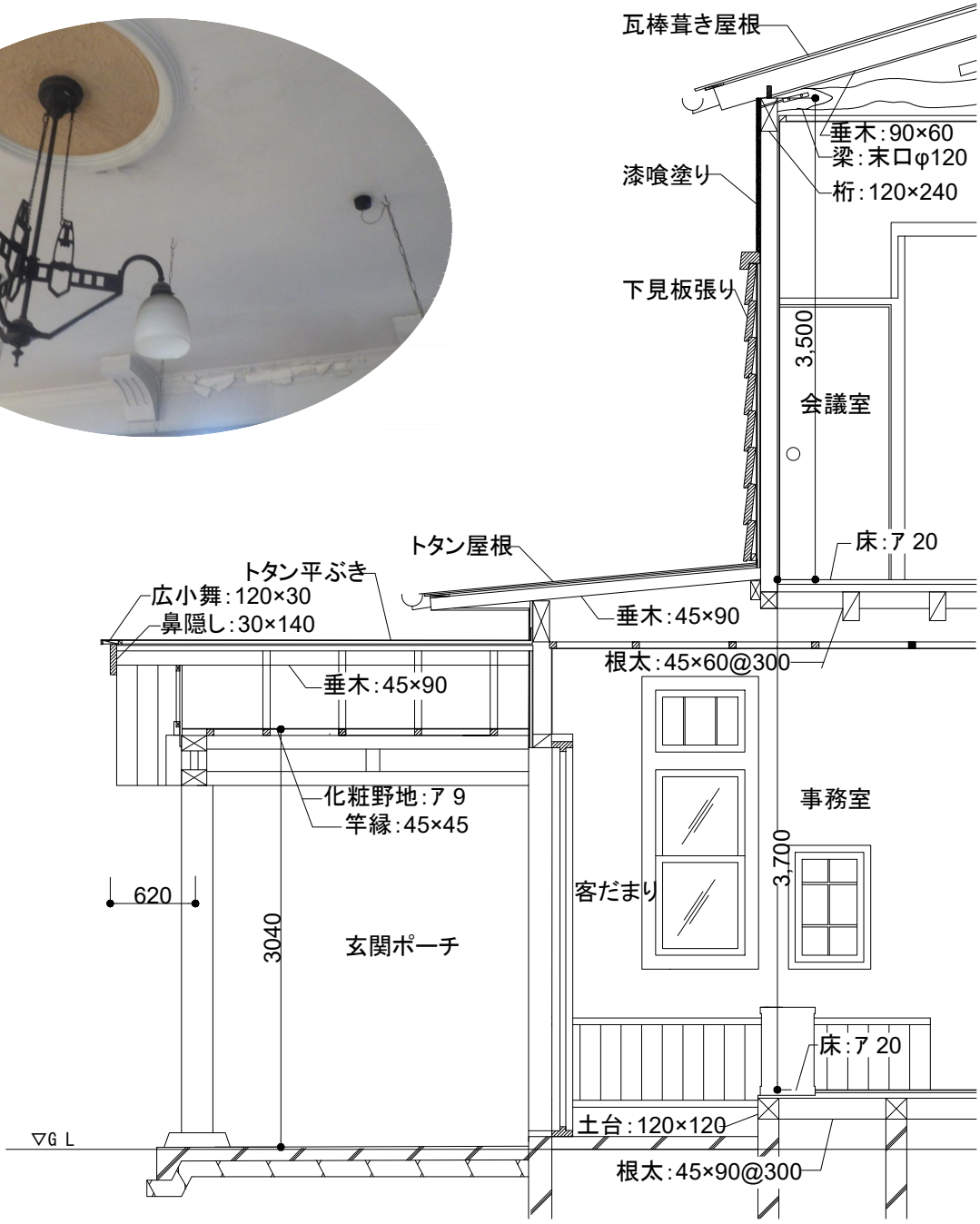
北面立面図 S=1/100



東面立面図 S=1/100



西面立面図 S=1/100



矩計図 S=1/50

・集会室として使われていた部屋

・当時を彷彿させる建具

・おもむきある門標